

持続可能な目標 考えよう

九州各県の高校生らが交流する「第1回九州グローバルユースリーダーズサミット」が16日、熊本市中央区の熊本学園大で開かれ、熊本高など7校の約100人が、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに意見を交わした。

学生の海外研修などを企画するアイエスエイ（本社・東京）が、日本の将来を担う高校生に英語で議論し、未来へのメッセージを発信してもらおうと初めて開催。サポーターとして米国からの大学留学生13人も参加した。

24グループに分かれて討議。SDGsの17目標のうち「平和と公正をすべての人に」「質の高い教育をみんなに」など6目標について、「女性や子ども、兵士の健康管理をする」や「フェアトレードを普及させる」などの解決策を提案した。

熊本高1年の中鶴裕菜さん（16）は「各地から集まった高校生との交流を通して、新たな視点を得ることができた」と話した。

（渡具知萌絵）

九州の高校生ら交流 熊本市



SDGsについてグループでまとめた意見を発表する高校生たち
＝熊本市中央区

熊本日日新聞 2019年8月17日付